

福山港箕沖地区国際コンテナターミナルのガントリークレーン1号機損傷について

1 要旨・目的

- (1) 令和6年3月5日（火）に福山港箕沖地区国際コンテナターミナルのガントリークレーン1号機が船舶との接触により損傷し、現在、稼働を停止している。
- (2) 復旧に向けて損傷状況等を調査中であり、現状について報告する。

2 現状・背景

- (1) 船舶が接触したことにより、ガントリークレーン1号機は稼働出来なくなっている。
- (2) 損傷状況の詳細については調査中であるが、事故直後、ガントリークレーンのメンテナンス業者が目視調査したところ、走行装置の脱輪、固定装置の破損、海側シルビーム（躯体の一部）の変形が確認されている。

3 概要（対応状況）

- (1) ガントリークレーンの損傷状況等の調査を令和6年4月2日（火）に実施したところであるが、当該事故は、船舶がガントリークレーンの躯体本体に直接接触し、脱輪状態になるという稀なもので、損傷状況を適切に評価するために必要な脱輪部の復旧（移動レールへの戻し）工法検討に時間を要している。
- (2) 脱輪部をレールに戻した後に、詳細調査（シルビームの変形についての詳細な計測調査）に着手する予定であるが、調査実施時期については調整中である。
- (3) 現在は、ガントリークレーン2号機により、荷役への影響が最小限となるよう時間等を調整し作業を行っている。

4 今後の対応

ガントリークレーンの損傷状況の調査実施について、製造メーカーと引き続き調整を行うとともに、荷役への影響ができるだけ生じないよう、荷役事業者等とも緊密に調整を図りながら、早期の仮復旧、本復旧に向け対応していく（復旧時期については現時点で未定）。

5 その他（関連情報等）

復旧費用については、原因者に負担させることで調整中。

〔位置図〕



〔写真〕

①シルビーム



②固定装置



③走行装置（左：脱輪、右：通常）

